

絆 芥川かおる 市政レポート

～KIZUNA～

第2号 広報誌「絆」
芥川かおる後援会
発行日：平成25年11月
事務所：座間市入谷5-1874-5
発行責任者：野口利夫



平成二十五年 第三回(9月)定例会

無我夢中の一年でしたが、皆さまとお約束した姿勢を堅持し、研鑽努力してまいりました。これからも市民の皆さまの声に真摯に耳を傾け一層精進してまいります。変わらぬご指導をお願い申し上げます。



国の対応に 大きな疑問

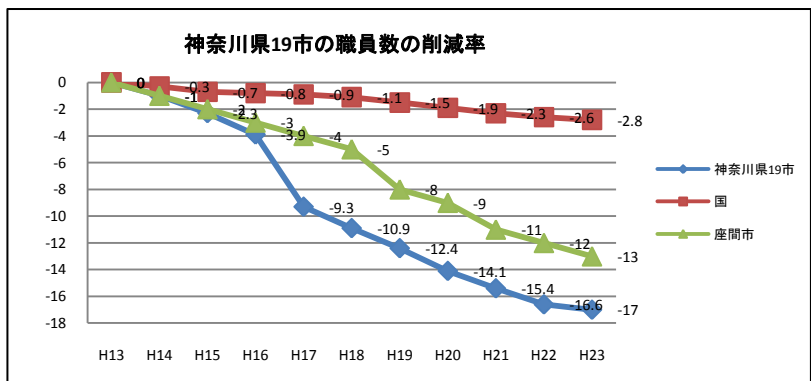
さて、平成25年第3回定例会も上程された諸議案に対し、慎重な審議がされ、9月30日に閉会を致しました。今回の定例会で追加議案として特別職(市長等)並びに職員給与削減に関する条例改正の議案が上程されました。この上程された理由は、国が2カ年の時限措置として、東日本大震災の復興財源確保等を含めて国民に理解を得ようと国家公務員に対して行っている給与削減を、国家公務員に準じて地方公務員の削減措置を求めているものであります。その対応をしない場合には地方自治体の固有の財源である地方交付税(本市では1億6千3百万円)を削減するものでもありません。職員定数並びに給与に関しては常に適正な規模を基本として各自治体に委ねられているものであり、この国の措置に各自自治体が、納得しかねるものとして反

論しており、地方分権の流れに反し、地方の財政自主権を侵すものであり、国が地方への一方的な押し付けと言わざるを得ず一般質問で取り上げました。

賛否へ最後まで思案

その理由(1)

地方自治体においては、国より先駆け様々な行財政改革が進められており、県下19市を見ると平成13年度からの10年間で、約1万3千人の削減(削減率：約17%減)、総人件費においては職員数削減や給与削減などにより毎年減額し、平成23年度は平成13年度と比較して、870億円の削減(削減率：約14%減)努力をしております。本市においても厳しい財政下、常に適



正な職員数並びに職員給与減額にも努力をし、平成13年度から24年度で約126人の削減(削減率約14%減)、総人件費においては、約19億5千7百万(削減率約13%減)の削減努力をしております。

更なる理解であり、あつてはなりません。職員のモチベーションの低下を危惧するものであります。

その理由(2)

国は景気対策の一環として、企業に賃上げを促し、景気好循環をつくることとしております。今回の一方的な国の地方自治体への給与削減措置は、市長の言葉をかりれば、経済においてアクセルを踏もうとしながら一方において、ブレーキを踏むような、矛盾に満ちたやり方であり、デフレ脱却、好循環を掲げる中、影響を心配しております。私としても同感であり本市として対応しない場合、地方交付税1億6千3百万円の減収となり、このことは、市民サービスの影響を及ぼすこととなりその影響と低下は絶対に避けなければならぬとの思いを強く持ち、国の対応に不服ながら断腸の思いで賛意の決断を致しました。

給与削減額の今後の使途

この削減額においては、防災・減災、地域活性化事業として当面、基金に積み立てられることになっております。私はこの貴重な財源が、市民生活の安全、安心の確保等の施策へ厳正に使途されていくことを強く求め、厳格にチェックしてまいります。また同時に地方分権、地方の自主性を損ねるような国の行為に対し、地方の一議員として微力ながら、声を大にして今後この様なことのないことを求めて参る所存でございます。

いつでも市民目線!
皆さまのお声をお聞かせください。
市政へのご相談は...⇒

〒252-0024 座間市入谷5-1874-5
Tel:046-240-7616 Fax:046-240-7793

一般質問

振込詐欺を

防災行政無線で抑止効果！

新たな手口で次々に起こり、後を絶たない振り込め詐欺などの犯罪を抑止する為に、防災行政無線の活用方法についてお伺いします。

平成24年は前年に比べ減少した振り込め詐欺ですが、平成24年県内での発生件数は515件、被害総額13億5千2百万円に対し、本年8月現在での発生件数が634件、被害総額20億7069万円。そして市内の発生件数は平成24年には5件、被害総額1246万円、平成25年8月現在の発生件数8件、被害総額5千546万円と、県内・市内ともに発生件数被害総額がすでに前年を上回る状況であります。

また、県内の平成25年1月～6月のオレオレ詐欺発生状況では、認知件数369件で、既遂344件、未遂25件であり、既遂事件の被害総額は約12億4千万円、平均被害額約360万円、被害最高額4千5百万円、被害者の性別では男性が55人、女性が289人と女性が被害に合うケースが断然に多くなっております。

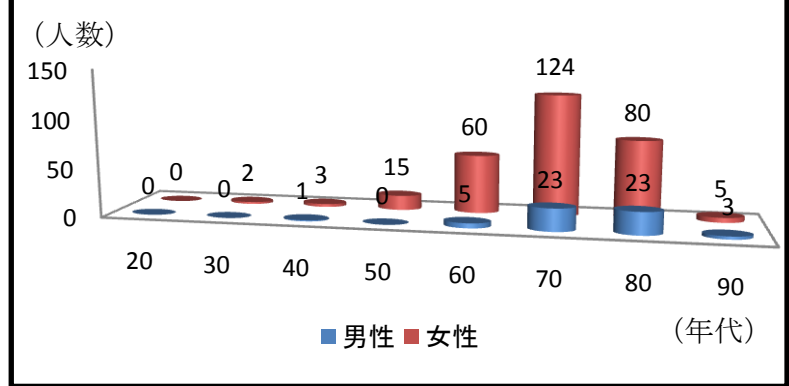
	オレオレ詐欺	融資保証金詐欺	架空請求詐欺	還付金詐欺	発生総件数	被害総額(約)
神奈川県内	424件 未遂(56件)	14件	21件	55件	515件 未遂(59件)	13億5,200万円
座間市内	5件 未遂(1件)	0件	0件	0件	5件 未遂(1件)	1,246万円

振り込め詐欺発生状況(平成24年中)

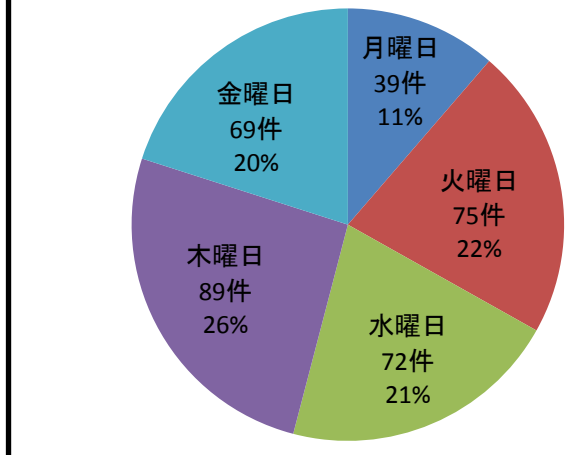
特に高齢者の女性が集中的に被害にまわっており、許す事の出来ない事件であります。警察においても、被害、事件を未然に防ぐためにあらゆる防止策をうちだしておりますが、新たな手口により増加するといった状況であります。

今後、警察や行政との間で連携を図る事が必要不可欠と思うわけで、近隣市においては防止策の取り組みとして、振り込め事件発生時などに防災行政無線を活用しており、現にかなりの成果があり、一斉に情報を流せる防災行政無線が抑止効果に有効だとのことあります。本市としても、事件発生時などに流すことで、未然に被害を防げる効果があると思えますが、市民の方の尊い財産を守るため、是非、防災無線を活用すべきと考えますが当局の見解をお聞かせ下さい。

被害者の男女別年齢層(速報・既遂344件)



曜日別発生状況(速報値・既遂344件)



《答弁》

振り込め詐欺については、現在警察当局などによる懸命な注意喚起がなされているにもかかわらず、一向に減る気配がございません。こうした状況について、市民の財産を守るための観点から、近隣市においても振り込め詐欺を防災行政無線により注意喚起している実例を承知しており、一定の地域で同時に集中して電話がかけられる手口などに対して、放送によって注意を促すことで被害を未然に防ぐ効果が得られるものと推察いたします。

防災行政無線局運用要綱に基づく放送内容についても、現状に即した全体的な見直しを早々に行うとともに、振り込め詐欺の事案については依頼元が座間警察になりますことから、よく警察との調整を図り適切に対応してまいりたいと存じます。

ざまを歩こう!!
～シリーズⅢ～

毎年5月4日・5日の端午の節句に開催される『大凧まつり』は約200年の歴史を持ち、かながわまつり50選にも選ばれています。この大凧あげが行われるようになったのは、江戸時代からで、当時は3～4m程度の凧でしたが時代と共に大きな凧が作られるようになり、明治時代より現在の大きさになりました。平成13年には座間市制30周年を記念して約210畳(約2t)敷きの日本一大きな大凧が作られました。この大凧の特徴は字凧と呼ばれ、右上には太陽を表す赤色、左下には大地を表す緑色で、毎年市内外の皆様からの応募により決定した二文字が描かれます。この大凧は市の大凧保存会の方々により作られ、年間を通し様々な行事に参加し、市の大切な伝統文化を守り継承しております。2014年も沢山の想いをのせて空を舞います。ぜひご覧ください!!(場所:相模川グラウンド)



- 《9月定例会での一般質問内容》
- 一、職員の評価について
 - 一、陸上自衛隊家族宿舎について
 - 一、防災行政無線について
 - 一、消防行政について
 - 一、中学校給食について
- ※詳しくは座間市ホームページより
市政・まちづくり部座間市議会
インターネット中継でご覧下さい。